

文化財の保護を目的とした尺八の三次元形状の保存と 3Dプリンタを用いた復元

研究背景

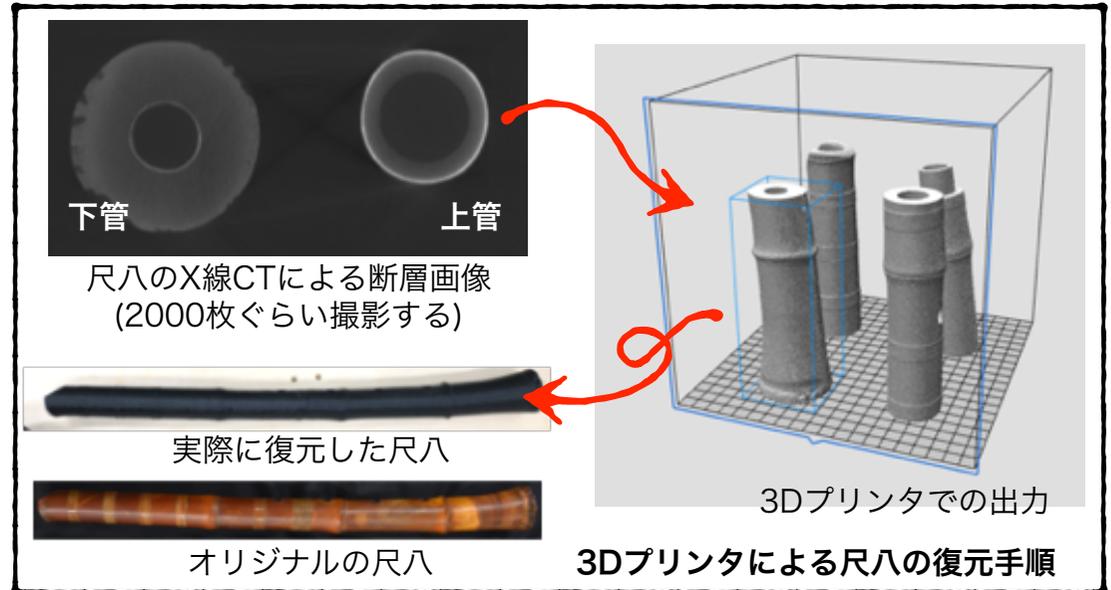
- ※ 文化財が想定外の自然災害や紛争によって被害を受ける可能性がある。
- ※ 国宝・重要文化財の尺八のように歴史的価値が高すぎる故に演奏が困難なものがある。
- ※ 音響学的には尺八の音色は材質に依存しない。

研究目的

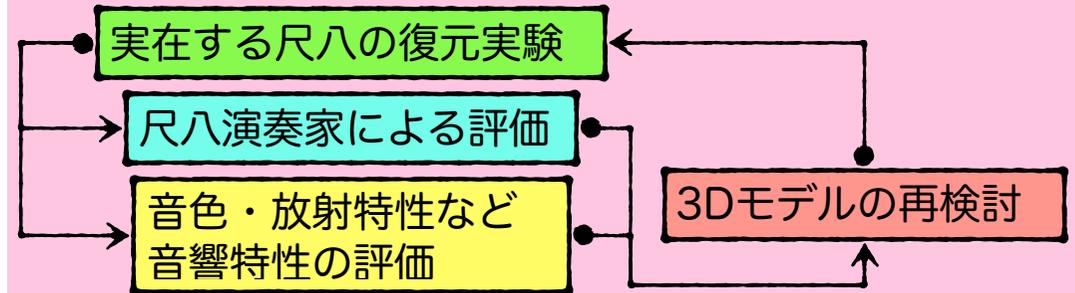
- ※ 尺八の正確な形状をX線CTでデジタル化して、文化財への予期せぬ被害に備える。
- ※ もしもの時に形状データから3Dプリンタで復元できる技術を確立する。
- ※ 重要文化財に指定されている尺八を3Dプリンタで複製することで、いにしへの音色を聴けるようにする。

期待される効果

- ※ 文化財の保護に役立つ。
- ※ 奈良時代の尺八の音色が実際に聴けるようになれば、純邦楽に関する研究および芸術文化への貢献が期待できる。



研究手順



研究チーム

高専 教員 高橋義典
専攻科生 倉本有紗

首都大 教員 小野順貴
大学院生 中嶋大志

尺八とは

- ※ 日本の伝統的な吹奏楽器。
- ※ 真竹を職人が手作業で製作する。
- ※ 湿度の変化で縦に裂けやすい。